

第1回筑紫野市都市計画マスタープラン策定会議の結果について

会議内容は、次のとおりです。

開催日時	平成26年3月28日（金） 14:00～16:00
開催場所	筑紫野市生涯学習センター 学習室5
出席委員数	14名
会議次第	<ol style="list-style-type: none">1 開会2 委嘱式3 市長あいさつ4 委員・事務局紹介5 座長の選出6 事務局説明・意見交換<ol style="list-style-type: none">1) 都市計画マスタープラン策定会議について2) 筑紫野市の現状について7 事務連絡8 閉会
会議概要	<p>委員から出された質問・意見は次のとおりです。</p> <p>【平成26年度実施予定の地域別懇談会について】</p> <p>○現在、地域コミュニティーの関係で各地域、学習会を行い、地域の課題や将来像について意見交換をしている。地域別懇談会とも意見が被る部分があると思うので、うまく連携をとりながら整合性を保つべき。 ⇒市民協働推進課と連携し、都市マスに活かせるものは活かしていく。</p> <p>【現在の都市計画マスタープランについて】</p> <p>○現都市マスには、細かい意見まで記載している。小さな意見まで記載すると、まとまりにくく、実現可能でない事項もでてくる。大きく集約した課題を記載したほうが実現可能性があって良いのではないか。</p> <p>○現都市マスの検証及び進捗率について把握したい。 ⇒当時設定した課題がどこまで解消されたか、新たに継続しなければならないかを把握する必要がある。次回の策定会議で資料を提示する。</p> <p>○20年という長期計画を策定する場合、現在の社会情勢は大きく変化するので、その点に留意しながら策定する必要がある。</p>

【地域の人口配分について】

○西鉄沿線や筑紫地域では人口の増加みられる一方、山家地域などでは、人口が減少している。都市計画として、人口配置のアンバランスを解決するような都市マスにしてほしい。

【市民アンケート結果について】

○市内の貴重な歴史景観が存在しているので、天拝公園の再整備を進めて欲しい。

○身近な商店の売上げをどうやって地域の活性化に結びつけていくかを考えなければならない。

○観光資源や温泉街を連動させた地域商業圏を形成していくことが重要。

○市民の直接的な意見であるので重たく受けとめなければならないが、要望の面が強く、現実的でない意見も多いということも念頭に置く必要があり、市民からの意見は十分に精査する必要がある。

○社会福祉関係にも関心が高まっており、都市マスに直接的関係はないかもしれないが、策定時には配慮が必要ではないか。